

## — 山の匠 —

京丹波町：山内善継（やまうちよしつぐ）

〔栗栽培技術〕

地域に先駆けて低樹高栽培を行い、安全かつ効率的な作業を実現。的確な整枝剪定により、大粒の栗の収穫技術を有する。土づくりにこだわり、栗樹の凍害軽減に成果を上げる等、京のブランド産品「丹波くり」の生産量の増大技術を有する。

福知山市：岡本嘉明（おかもとよしあき）

〔漆掻き〕

「丹波漆」の植栽から漆掻きまで、一連の技術についての唯一の継承者であり、一度に漆を掻く量や漆を掻くための漆ベラの刃の角度など採取方法を改良した。丹波漆生産組合（現 NPO 丹波漆）を立ち上げ生産拡大や後継者育成を行っている。

京都市：尾島俊明（おじまとしあき）

〔北山丸太生産（本仕込法）〕

北山林業の伝統的製造技術「本仕込法（伐採した丸太を山で皮を剥き、立木に立て掛けて天日で乾燥）」を現在も指揮できる唯一の継承者。北山丸太本来の伝統技術を受け継ぎつつ、安全の為に改良を重ねる。

京都市：藤田利幸（ふじたとしゆき）

〔北山杉の管理・生産技術〕

植え替えに備えて根を発生させる活着向上技術や接ぎ木技法を駆使し、理想的な樹形の庭園緑化用「北山台杉」を生産する随一の技能を有しており、樹形や枝ぶりが美しいと全国から引き合いも多く、国会議事堂の北山台杉の管理も担う。

京丹後市：栗原稔（くわはらみのる）

〔炭焼き〕

丹後管内で数名しかいない、昔からある炭焼きの技能を受け継ぎ、炭窯の改良等工夫を重ねている。研修の受入れ等、後継者育成に積極的で、炭の材料となるクヌギ林の育成を行い、府内ではほとんど生産の無い茶室向け菊炭の生産に取り組む等活动に意欲的である。

### 宮津市：井之本泰（いのもととおる）

#### 〔丹後の藤織り〕

上世屋に数名だけ残っていた織手から直接指導を受けて織り技法を継承し、現代にも通じる多彩な作品を作っている。「丹後藤織り保存会」の設立者であり、藤織り講習会を35年にわたり開催し、本の執筆、企画展示でのトークなど、地元学校等と連携し、広く伝承活動を行っている。

### 京都市：尾島四郎（おじましろう）

#### 〔北山丸太生産技術（枝打ち）〕

600年の歴史を有する北山丸太の生産には特殊な枝打ちが不可欠である。自ら改良した「猿飛」で幹を登り、専用鎌で幹から枝を抉り取るように切り落とす高度な技法で、高品質な北山丸太を生産している。テレビやイベントでの技術披露など、北山林業のPRや技能伝承に努めている。

### 京丹波町：白樫貢（しらかしみつぎ）

#### 〔山椒栽培〕

剪定を嫌う山椒において「枯損しない剪定技術」を確立し、樹の寿命を長くし収量を安定させている。また、高度な技術を要する接木法により優勢種を増殖する先駆者である。